



元宵節のちょうちん祭り



人口の現状／人口の増加／人口高齢化／民族／  
言語と文字／伝統的な祝祭日／宗教

# 人民

中国は世界で最も多くの人口を有し、漢民族と主体とする56の民族が和やかに暮らし、大きな区域に分散して暮らすか、小さな範囲に集中して暮らしている。漢語は中国の共通語とされ、ほとんどの少数民族は自らの言語を使っている。中国には多くの伝統的な祝祭日があり、主として春節、元宵節、清明節、端午の節句、中秋節などが挙げられる。そのほか、各少数民族にもそれぞれの伝統的な祝祭日がある。中国には信仰が多く、数多くの宗教が共存している。





## 人口の現状

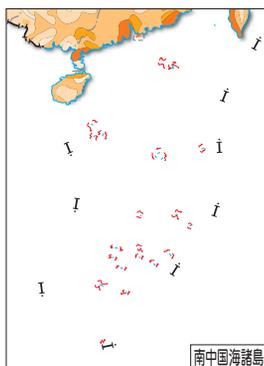
中国は世界で人口の一番多い国である。現在、中国大陸部の人口は13億7053万7000人(2010年の第6回国勢調査より)に達し、世界人口の約5分の1を占めている。

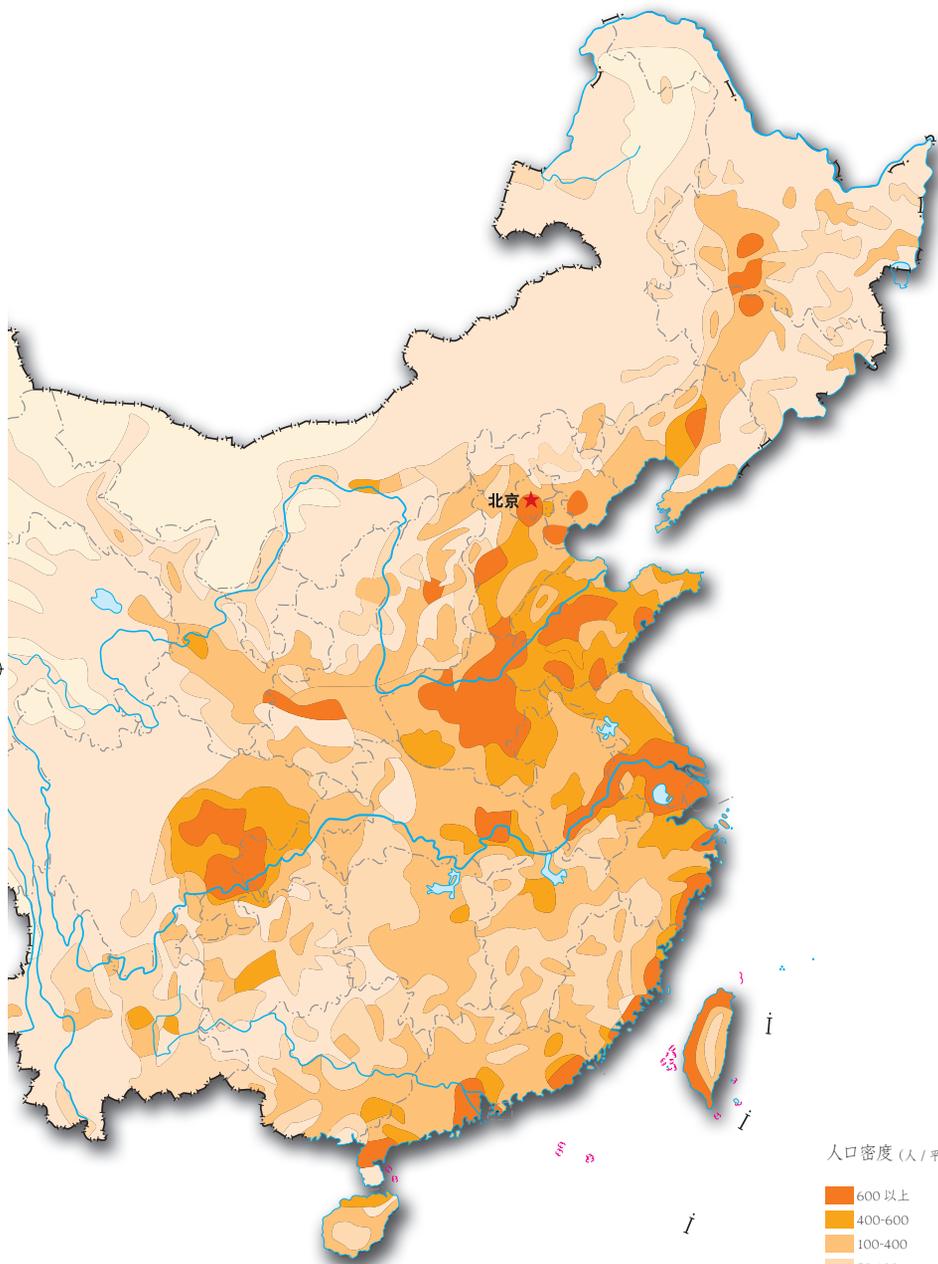
中国は世界で人口密度がかなり高い国の1つでもあり、1平方キロ当たりの平均人口密度は140人以上であるが、分布状況は非常にアンバランスである。東部沿海地区は人口密度が非常に高く、1平方キロ当たりの密度は400人を上回っているが、中部地区では1平方キロ当たりの密度は200人余り、西部の高原地区では人口は少なく、1平方キロ当たり10人以下である。

## 人口の増加

1949年の中華人民共和国建国の当時、全国の人口総数は5億4167万人であった。社会の安定、生産の発展、医療・衛生事情の改善および人口増加の抑制の重要性に対する認識不足と経験の不足によって、人口が急増し、1969年までに8億671万人に達した。深刻な人口問題を前にして、20世紀70年代から、

人口密度分布図





北京★

人口密度 (人 / 平方千米)

- 600 以上
- 400-600
- 100-400
- 50-100
- 1-50
- 1 人以下





中国は計画出産政策を実施し、人口の増加を抑え、今や中国は低出生率、低死亡率、低増加率の人口再生産パターンをおおむね実現することになった。

中国政府は人口と発展の総合的政策を実施し、人口の発展が経済社会の発展に合わせて、資源利用と環境保全にふさわしいものとなるよう力を入れている。20世紀90年代以来、毎年人口や資源、環境をテーマとする座談会を開き、経済の発展や計画出産の展開、教育の普及・健康レベルの向上、貧困撲滅、社会保障の整備、女性の地位の向上、文明で幸せな家庭づくりなどを緊密に結びつけている。

## 人口高齢化

専門家の分析によると、第十二次五カ年計画の期間に中国の人口高齢化が急速に進み、高齢化、空巢化（子供がいなかった同居していないお年寄り家庭）の特色を呈することになる。2015年までに、60歳以上のお年寄りが総人口の16.7%を占める2億1600万人となり、80歳以上の高齢者は高齢人口の11.1%を占める2400万人に達し、都市部・農村部にあるお年寄りだけの家庭は50%を上回り、一部の大中都市ではそれが70%となり、農村部の「留守番老人」（家族が都市に出稼ぎに行き、農村に残されたお年寄り）は約4000万人となり、農村部の高齢者人口の37%を占めることになると見られている。

言うまでもなく、高齢化は新たな矛盾と圧力となり、経済社会の発展にとって新たな試練となる。政府は高齢化問題に大きな関心を寄せ、お年寄りにさまざまな権益を享有させるための一連の措置を講じている。とくに養老保険面で、都市部の職員・労働者の養老保険制度の実施を推し進めると同時に、全国に新しいタイプの農村社会養老保険試行スポットを設置し、農業人口に向けて社会化し

## 計画出産

中国は計画出産を基本的国策として推し進めている。中国の実施している計画出産は、国の指導と人びとの自由意志とを結びつける方法を取っている。中央と地方政府が人口の増加を抑え、人口の質を向上させ、人口の構成を改善する政策・法規とマクロの人口発展計画を制定するほか、すべての夫婦に出産保健、避妊、健康な子どもを生子、育てることなどのコンサルタント、指導、技術サービスを行っている。出産適齢期の夫婦がその年齢、健康状況、仕事と家庭の経済事情に基づいて、責任をもって、妊娠、出産を計画的に按配し、適切な避妊方法を選ぶことができる。

中国の現行の計画出産政策の主な内容は、晩婚晩育（遅めに結婚して遅めに子どもを生子）、少なく生んで健康な子どもを育てることを提唱し、一組の夫婦に子ども一人ということ提唱している。農村地区では、確かに困難を抱えている夫婦は数年間の間隔を置いて2人目の子どもを出産してもよいことになっている。少数民族地区では、それぞれの民族の自由意志とその民族の人口、資源、経済、文化と習俗など具体的な状況に基づいて、異なった規定が設けられている。一般には子どもを2人生むことができ、地域によっては子どもを3人生むこともでき、人口が少なすぎる少数民族に対しては出産数を制限していない。





公園で健康ダンスを踊る定年退職者たち

た養老保険を提供している。お年寄りの合法的權益を守り、高齢者事業を進めるため、政府は養老保険法や医療保険法、社会救済法、家庭扶養法、社会サービス法、老人住宅法、老人福祉法など高齢者関連の法律・法規を制定している。

中国は政府を主導とし、市場化、社会化、多様なレベルでの高齢者産業と高齢者サービス業の発展モデルを確立するよう呼びかけている。社会各方面の積極的参加と共同発展をサポートし、政府がマクロ的に管理を行い、社会の力が高齢者事業を立ち上げ、経営し、企業や機構が市場ルールに基づいて自主的管理を行う体制と運営メカニズムをちくじ構築している。

## 民族

中国は56の民族からなる統一的な多民族国家である。漢民族の人口が多い（全国総人口の91.6%を占める）ため、習慣上他の55の民族は少数民族と呼ばれている。漢民族は全国各地に広く分布しており、少数民族としては、チベット族が主にチベット自治区、青海、四川、雲南などに、満州族は主に東北地域に、蒙古族は主に内蒙古自治区に、ウイグル族は主に新疆ウイグル自治区に、回族は主に寧夏回族自治区に、チワン族は主に広西チワン族自治区に分布している…56の民族が睦まじく暮らし、漢民族を主体とする大きな区域に分散して暮らすか、小さな範囲に集中して暮らしている。



チベット族の少女



草原の蒙古族の男性



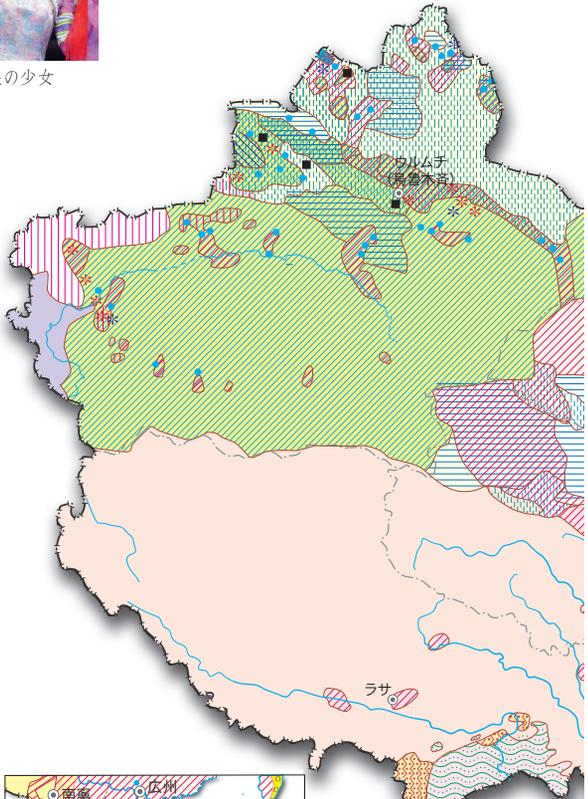
満州族の少女



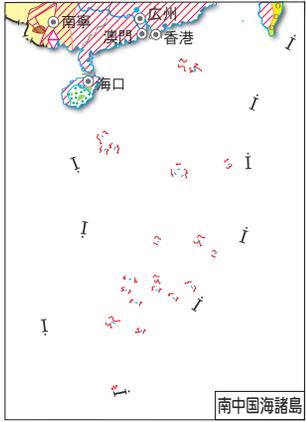
ウイグル族の老人



回族の少年

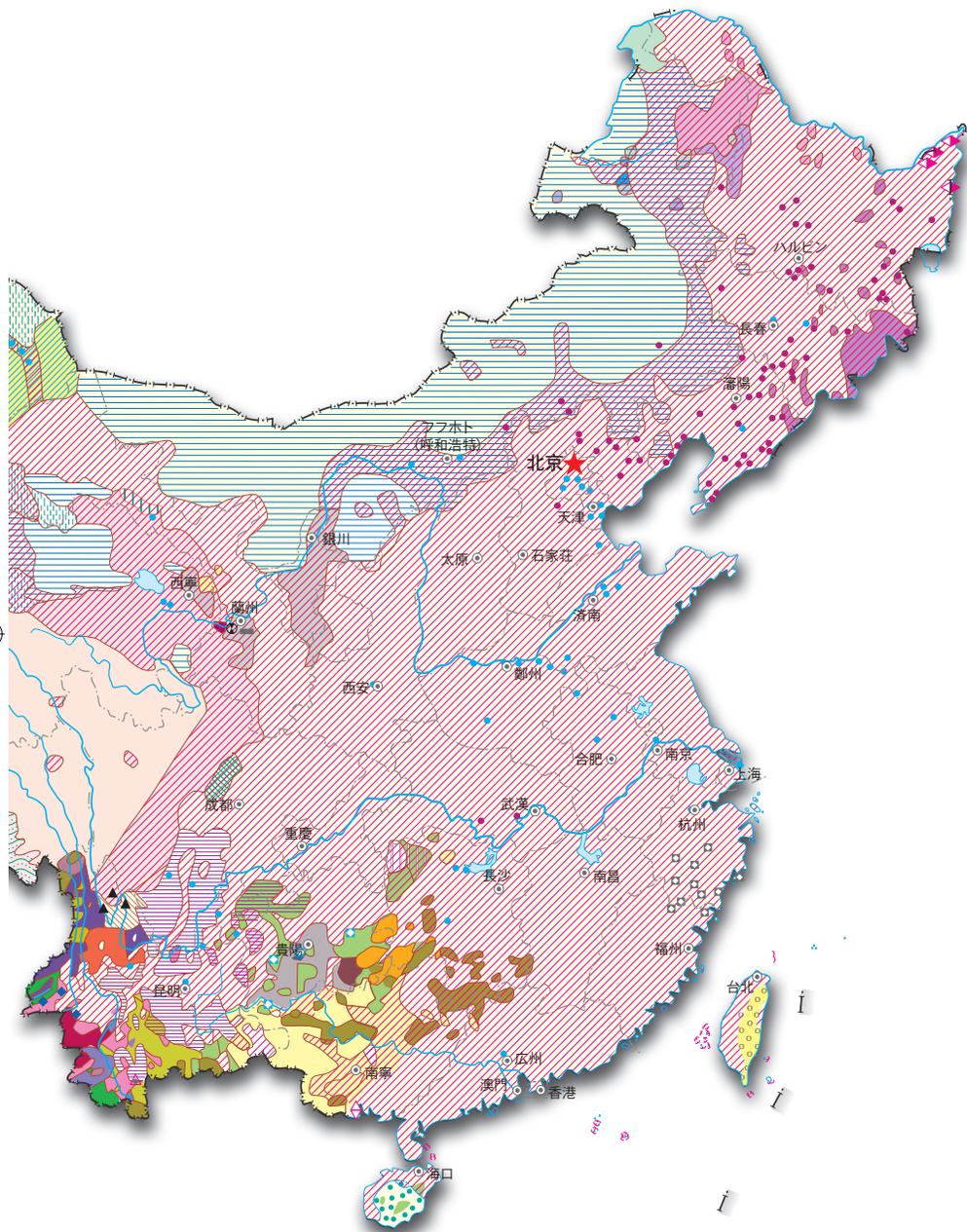


民族		民族	
	漢民族		コーラオ族
	蒙古族		シボ族
	回族		アチャン族
	チベット族		ブミ族
	ウイグル族		タジク族
	ミャオ族		ヌー族
	イー族		ウズバク族
	チワン族		ロシア族
	ブイ族		オウング族
	朝鮮族		ドアン族
	満州族		バオアン
	トン族		ユイグー族
	ヤオ族		ナーシー族
	ペー族		チンブオ族
	トゥチャ族		ワー族
	ハニ族		シェ族
	カザフ族		カオシヤン族
	タイ族		ラフ族
	リー族		シュイ族
	ジン族		トゥ族
	タタール族		ダフル族
	トーロン族		モーラオ族
	オロチョン族		チャン族
	ホーチョ族		プーラン族
	メンバ族		サラ族
	ローバ族		マオナン族
	ジューズ族		リースー族
	キルギス族		トンシヤン族





# 民族分布图







花嫁を迎えに行くミャオ族の人たち





## 言語と文字

漢語は今では中国の共通語となっており、漢字は中国の共通文字である。少数民族のうち、回族、満州族の2つの民族が漢語を使用しているほか、その他の53の民族は自分たちの民族の言語を使っている。現在、少数民族の学生の募集を主としている学校では、それぞれ自分たちの民族の文字の教科書を採用し、自分たちの民族の言語を使って授業を行うとともに、漢語の課程も設け、全国で通用する標準語と規範化された漢字を普及させている。

漢字は中国人が発明した表意文字の書写体系であり、世界で最も古い、今日までに伝わっている唯一の表意文字でもあり、その歴史は4000年以上に遡ると推測される。

漢字は簡体と繁体の2つの体系に分かれる。前者は中国の大陸地域、マレーシア、シンガポールおよび東南アジアの華人圏で使われ、後者は主に中国の香港、澳門（マカオ）、台湾地域および北アメリカの華人圏の中で使われている。近年らい、世界で中国語を第二言語として学習する人が増大するにつれ、簡体字の使用範囲はたえず拡大している。

1994年出版の『中華字海』に収録された漢字は8万5000字以上ある。1988年に国が公布した『現代漢語常用字表』には常用字2500字と準常用字1000字の計3500字が収録されている。

## 伝統的な祝祭日

中国には多くの伝統的な祝祭日があり、主として春節、元宵節、清明節、端午の節句、中秋節などがある。そのほか、各少数民族にもそれぞれの伝統的な祝祭日がある。例えば回族の小バイラム祭、ウイグル族のクルバーン祭、タイ族の水かけ祭、蒙古族のナダム祭、イー族のタイマツ祭、ヤオ族のダーヌ祭、ペー族の三月街祭、チワン族の「歌垣」、チベット族のチベット暦新年とワンコー祭、ミャオ族の跳花祭などがよく知られている。

### 春節

中国の歴史상においてはずっと旧暦が使われ、春節は旧暦の正月の1日にあたり、新

### 唯一の生きた象形文字—東巴文(トンパ文字)

トンパ文はナーシー族の古い文字で、1000余年の歴史をもっている。トンパ文は最初木と石の上に書かれた記号・画像であったが、その後これらの記号、画像は紙の上に書かれ、文字となった。トンパ(祭祀をつかさどる人)が使っていた文字なので、トンパ文と言われている。トンパ文は約1400の単語があり、現在でもナーシー族のトンパによって使われ、現在の世界で唯一の生きた象形文字と見られており、人類社会、文字の起源、発展を研究するうえでの「生きた化石」である。





楽しい水かけ祭

## 中国の西暦祝祭日

新年(1月1日)  
 国際勤労婦人デー(3月8日)  
 植樹の日(3月12日)  
 メーデー(5月1日)  
 中国青年デー(5月4日)  
 国際児童デー(6月1日)  
 中国人民解放軍建軍記念日(8月1日)  
 教師の日(9月10日)  
 国慶節(建国記念日、10月1日)

年の最初の日であった。1911年の辛亥革命以後、中国は西暦を使うようになり、旧暦の新年を春節と改称することになり、たいてい西暦1月下旬から2月中旬の間にある。春節の前夜は「除夕」（大みそか）といわれ、一家だんらの大切な時でもあり、一晩中一睡もせずに新年を迎える人も多く、これを「守歳」と呼ぶ。春節の期間においては、獅子舞い、竜の舞い、舟踊り、竹馬踊りなどの伝統的な娯楽活動を楽しむことが最も普遍的である。

## 元宵節

旧暦の1月15日は元宵節で、「灯節（ちょうちん祭り）」とも呼ばれ、春節後の最初の満月の日にあたる。元宵節には元宵を食べ、ちょうちんを觀賞する習慣がある。元宵はもち米の粉で皮を作り、果実などの入ったあんをくるんで、丸い形にしたもので、「一家だんらん」の象徴でもある。元宵節のちょうちん見物は西暦1世紀に始まり、現代まで伝わっており、今でも各地で盛んに行われている。





旧正月用品を買っているところ

## 清明節

清明節は西暦毎年4月5日前後にある。清明節はもともとは祖先を祭る祭日であった。人びとはこの日に先祖のお墓参りをし、国のために命をささげた人たちのお墓参りをし、哀悼の意を表している。清明節の頃になると、気候も暖かくなり、草が芽生え木が芽吹き始め、人びとは仲間や友人と語らいあって郊外にでかけ、緑の若草の上でタコ揚げをしたりする。清明節を「踏青節」とも呼んでいるわけはここにある。



端午の節句のチマキ

## 端午の節句

旧暦の5月5日は端午の節句である。この頃になると、気候も暑くなり、虫害が多く発生し、端午の節句は虫を駆除し病気を払うためのものでもある。もう一つ

のいわれは、国を愛した中国古代の詩人屈原を偲ぶ日ということである。屈原（紀元前340頃～前278年）は戦国時代の楚の国の人である。屈原は自分の政治的理想が実現できず、楚を滅亡から救う力もなく、5月5日、石を抱えて汨羅川に身投げした。その後、毎年その命日になると、人びとは川に竜舟を浮かべ、また、竹筒にご飯を入れて川に流して屈原を祀ったという。今でも、民間では端午の節句にはチマキ（竹の葉あるいはアシの葉でもち米のご飯をくるんでつくる）を食べ、竜舟競漕を行う習俗がある。

## 中秋節

旧暦の8月15日は中秋節である。8月15日は秋のちょうど真中にあたるので、「中秋」ともいわれている。中国の古代においては、中秋節になると人びとは念入りに作った月餅で月の世界に住んでいるといわれる神を祀り、そのあと、これを皆で分けて食べ、一家団らんのひとときを過ごす。この風習は今日までずっと伝わっている。

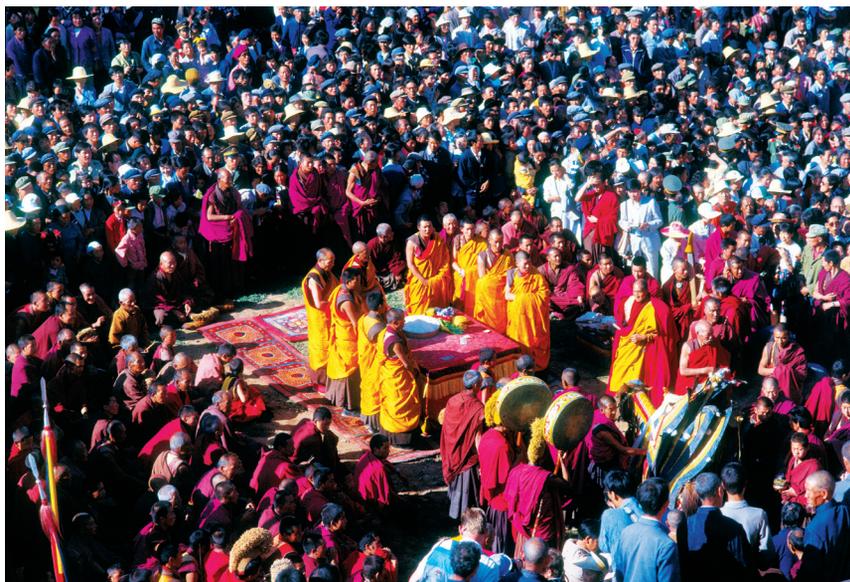
## 宗教

中国は数多くの宗教が共存しており、宗教を信仰する人は1億人以上にのぼり、信仰者数は穏やかに増え、宗教活動場所はあわせて約13万カ所ある。中国には仏教、イスラム教、カトリック、プロテスタントが伝わっており、そのほか、土着の宗教としての道教や、シャーマニズム、ギリシャ正教、トンパ（東巴）教などがある。

中国では、宗教信仰の自由の宗教政策を実行している。中国では、すべての正常な宗教活動、例えば仏像をおがむこと、お経をあげること、祈祷すること、仏の教え（道）を説くこと、ミサ、洗礼を受けること、受戒すること、ラマダーン、宗教の祭日を過ごすなどは、いずれも宗教関係者と教徒が自分で負担して行い、法律の保護を受けることになっている。諸宗教の経典はいずれも諸宗教団体が責任を持って出版し、発売し、諸宗教はいずれも全国的な刊行物を出版し、内外で発売している。

中国では、全国的な宗教団体は中国仏教協会、中国道教協会、中国イスラム教協会、中国カトリック愛国会、中国カトリック主教団、中国プロテスタント教「三自」愛国運動委員会、中国プロテスタント教協会などがある。各宗教団体はそれぞれの規約に基づいてトップと指導部を選出している。

ラサの大法会





崂山の道教の僧



西寧市の東閩清真大寺（モスク）



最初の中国での伝道者であるイタリア人宣教師マテオ・リッチによって建立された南京の天主堂



四川省成都市のプロテスタント教会恩光堂で、聖書の教えに耳を傾けている信者たち

## 宗教信仰自由は憲法によって保護されている

『中華人民共和国憲法』に基づき、宗教信仰の自由は公民の基本権利である。憲法第36条は「中華人民共和国の公民は宗教信仰の自由を有する」、「いかなる国家機関、社会団体、個人も公民に宗教信仰または宗教不信仰を強制してはならず、宗教を信仰する公民と信仰しない公民を差別してはならない」、「国は正常な宗教活動を保護する」と規定している。同時に、「いかなる人も宗教を利用して社会秩序を破壊し、公民の身体の健康を損ない、国の教育制度を妨害してはならない」、「宗教団体と宗教事務は外国勢力の支配を受けてはならない」と規定している。

## 五大宗教

仏教は紀元1世紀頃に中国に伝わり、4世紀以降各地に広まり、次第に中国で最も影響力のある宗教となった。チベット仏教は中国仏教の一つで、主として、チベットと内蒙古などに広まった。

道教は紀元2世紀ごろに形成され、春秋時代の道家の老子を始祖としてたてまつり、その著書『道德経』を主な經典とする。

イスラム教は7世紀中葉に中国に伝わった。元代において、イスラム教が栄えるようになった。イスラム教は主として回族、ウイグル族など少数民族が信仰している。

カトリックは紀元7世紀頃からだんだんと中国に伝わり、プロテスタントは19世紀の初め頃に中国に伝わった。

